



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 THEグローバル社

コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永嶋 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	12,568	△2.4	144	△53.0	45	△28.5	26	△4.0
26年6月期第2四半期	12,871	20.2	307	△58.0	64	△84.8	27	△85.2

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 45百万円 (25.5%) 26年6月期第2四半期 36百万円 (△80.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	2.00	1.91
26年6月期第2四半期	2.10	1.98

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年6月期第2四半期	22,898		5,711		24.6	428.47
26年6月期	26,131		5,861		22.1	440.85

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 5,635百万円 26年6月期 5,786百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,896	△9.6	1,542	△35.5	1,168	△35.5	705	△32.4	53.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	13,153,000 株	26年6月期	13,125,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	76 株	26年6月期	76 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	13,143,641 株	26年6月期2Q	13,038,889 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費などに弱さがみられるものの、大企業製造業での企業収益の改善の動きもみられ、景気は緩やかな回復基調が続いております。今後についても雇用・所得環境の改善傾向や政府による経済政策や金融政策を背景に、緩やかに回復していくことが期待されますが、消費マインドの低下や海外景気の下振れ等わが国の景気を下押しするリスクもあり、景気の先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、平成26年12月における首都圏のマンションの新規発売戸数が前年同月に比べ13.9%増加となり11ヶ月ぶりに増加したものの、同月の契約率については概ね好不調の目安となる70%を下回る状況(69.9%) (株式会社不動産経済研究所調査)となりました。首都圏における新設分譲住宅着工戸数についても、建築費の上昇等を背景に平成26年11月及び12月と前年同月比で減少(国土交通省統計調査)するなど、事業環境としては決して楽観視できない状況にあります。

このような環境下、当社グループにおきましては、マンション事業と戸建事業を事業の二本柱として事業拡大を図り、多様化するお客様ニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに注力いたしました。

マンション事業におきましては、土地価格や建築費の高騰により、依然楽観視できない状況であり、今後の仕入につきましては、比較的販売が好調な都心部を中心に用地仕入を行ってまいります。

戸建事業におきましては、これまでの建売販売から、自社施工の強みを生かした売建販売(土地販売+建物請負)を中心に事業をすすめ、お客様のニーズに合わせた注文住宅の自由度の高さと建売住宅の安心価格を実現した「HOUSTYLE(ハウスタイル)」をメインコンセプトとした請負事業を、強化してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,568百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益は144百万円(前年同四半期比53.0%減)、経常利益は45百万円(前年同四半期比28.5%減)、四半期純利益は26百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

## [マンション事業]

マンション事業におきましては、「ラ・青葉台-コルティエーレ-」、「ウィルローズセンター北」、「ウィルローズ上北沢」、「I O R I S」等、合計137戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高6,437百万円(前年同四半期比10.8%増)、営業利益485百万円(前年同四半期比124.3%増)となりました。

## [戸建事業]

戸建事業におきましては、「世田谷・喜多見プロジェクト」、「横浜青葉・荏田町プロジェクト」、「所沢・下安松6期プロジェクト」、「浦安・入船プロジェクト」、「東久留米・中央町2期プロジェクト」等、合計170戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高5,693百万円(前年同四半期比11.6%減)、営業損失98百万円(前年同四半期は営業利益324百万円)となりました。

## [販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理及び仲介を行い、東京都区部28物件134戸、東京都下1物件1戸、神奈川県で2物件85戸、埼玉県で4物件26戸、合計35物件246戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高443百万円(前年同四半期比31.3%減)、営業損失14百万円(前年同四半期は営業利益198百万円)となりました。

## [建物管理事業]

建物管理事業におきましては、マンション管理が順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高175百万円(前年同四半期比23.6%増)、営業利益25百万円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

## [その他]

その他におきましては、賃貸用不動産から賃料収入を確保しております。

以上の結果、当セグメントの売上高70百万円(前年同四半期比11.0%増)、営業利益45百万円(前年同四半期比1.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ3,233百万円減少し、22,898百万円となりました。負債については前連結会計年度末から3,083百万円減少し、17,187百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から150百万円減少し、5,711百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な要因については、現金及び預金が2,364百万円減少、仕掛販売用不動産が2,445百万円減少、及び販売用不動産が1,563百万円増加したことによるものであります。

負債の主な要因については、有利子負債が1,149百万円減少、買掛金が675百万円減少、及び未払法人税等が740百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な要因としては、利益剰余金が170百万円減少したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,362百万円減少し、1,988百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益63百万円を計上した一方、法人税等の支払額804百万円、たな卸資産の減少額868百万円、仕入債務の減少額675百万円、預り金の減少額103百万円を主要因として、729百万円の支出（前年同期は4,207百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出200百万円、有形固定資産の取得による支出124百万円を主要因として、292百万円の支出（前年同期は52百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額787百万円、長期借入れによる収入3,697百万円、長期借入金の返済による支出5,333百万円を主要因として、1,344百万円の支出（前年同期は2,677百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,470,000	2,105,294
売掛金	5,544	9,651
完成工事未収入金	158,284	93,380
販売用不動産	4,456,055	6,019,569
仕掛販売用不動産	14,932,008	12,486,967
前払費用	788,689	469,950
繰延税金資産	213,749	247,830
その他	168,821	198,311
流動資産合計	25,193,153	21,630,956
固定資産		
有形固定資産	526,888	636,597
無形固定資産	19,607	22,420
投資その他の資産		
投資有価証券	76,706	290,110
破産更生債権等	132,929	132,809
その他	324,388	326,948
貸倒引当金	△141,929	△141,809
投資その他の資産合計	392,095	608,058
固定資産合計	938,591	1,267,076
資産合計	26,131,744	22,898,032
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,268,853	1,592,874
短期借入金	2,659,772	3,447,316
1年内返済予定の長期借入金	8,904,190	8,282,432
1年内償還予定の社債	400,000	—
未払金	360,589	219,990
未払法人税等	811,875	70,925
未払消費税等	90,006	58,777
前受金	651,234	503,473
賞与引当金	16,795	16,333
その他	338,342	127,854
流動負債合計	16,501,660	14,319,978
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	3,708,910	2,694,040
繰延税金負債	6,885	14,559
その他	52,748	58,429
固定負債合計	3,768,544	2,867,029
負債合計	20,270,205	17,187,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,226	387,744
資本剰余金	1,333,456	1,333,974
利益剰余金	4,055,727	3,885,125
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,776,377	5,606,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,367	26,170
為替換算調整勘定	△1,591	2,657
その他の包括利益累計額合計	9,775	28,828
新株予約権	75,386	75,386
純資産合計	5,861,539	5,711,025
負債純資産合計	26,131,744	22,898,032

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	12,871,480	12,568,527
売上原価	10,553,901	10,454,306
売上総利益	2,317,579	2,114,220
販売費及び一般管理費	2,009,963	1,969,536
営業利益	307,615	144,683
営業外収益		
受取利息	1,203	968
受取手数料	11,106	23,030
解約精算金	11,179	300
工事補填収入	—	72,443
その他	9,499	27,351
営業外収益合計	32,989	124,093
営業外費用		
支払利息	222,721	182,598
持分法による投資損失	1,593	1,230
支払手数料	47,112	26,575
貸倒引当金繰入額	4,500	—
その他	639	12,605
営業外費用合計	276,566	223,008
経常利益	64,038	45,768
特別利益		
関係会社清算益	—	18,569
特別利益合計	—	18,569
特別損失		
固定資産除却損	5,352	—
固定資産売却損	—	492
ゴルフ会員権評価損	7,476	—
特別損失合計	12,829	492
税金等調整前四半期純利益	51,208	63,845
法人税、住民税及び事業税	131,468	67,937
法人税等調整額	△107,627	△30,363
法人税等合計	23,841	37,573
少数株主損益調整前四半期純利益	27,367	26,271
四半期純利益	27,367	26,271



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,367	26,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,273	14,803
為替換算調整勘定	1,905	△2,710
持分法適用会社に対する持分相当額	556	6,959
その他の包括利益合計	8,735	19,052
四半期包括利益	36,103	45,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,103	45,323

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	51,208	63,845
関係会社清算損益(△は益)	—	△18,569
減価償却費	45,291	33,531
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,829	△462
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,949	△120
受取利息及び受取配当金	△1,218	△988
支払利息	222,721	182,598
為替差損益(△は益)	△3,561	△10,952
持分法による投資損益(△は益)	1,593	1,230
有形固定資産売却損益(△は益)	—	492
固定資産除却損	5,352	—
ゴルフ会員権評価損	7,476	—
売上債権の増減額(△は増加)	71,537	60,796
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,355,006	868,754
前払費用の増減額(△は増加)	△118,493	305,849
長期前払費用の増減額(△は増加)	1,163	△1,700
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△14,616
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,285,155	△675,979
未払金の増減額(△は減少)	△168,982	△250,125
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,560	△31,229
未払費用の増減額(△は減少)	△26,435	12,748
前受金の増減額(△は減少)	591,638	△147,760
預り金の増減額(△は減少)	△1,049,602	△103,121
その他	213,508	△25,291
小計	△3,770,627	248,929
利息及び配当金の受取額	1,218	988
利息の支払額	△208,577	△174,984
法人税等の還付額	45,839	—
法人税等の支払額	△274,930	△804,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,207,078	△729,805

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	52,536
定期預金の預入による支出	△15,500	△40,486
有形固定資産の売却による収入	—	328
有形固定資産の取得による支出	△34,584	△124,746
無形固定資産の取得による支出	△3,613	△6,095
差入保証金の回収による収入	47,315	22,372
差入保証金の差入による支出	△33,988	△28,136
出資金の払込による支出	△50	△100
保険積立金の積立による支出	△2,164	△2,164
投資有価証券の取得による支出	—	△200,000
関係会社の清算による収入	—	34,149
子会社株式の取得による支出	△10,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,585	△292,343
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	915,562	787,543
長期借入れによる収入	6,331,400	3,697,000
長期借入金の返済による支出	△3,815,180	△5,333,627
社債の発行による収入	—	100,000
社債の償還による支出	△575,000	△400,000
リース債務の返済による支出	—	△247
株式の発行による収入	16,483	1,036
配当金の支払額	△195,331	△196,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,677,933	△1,344,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,437	4,001
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,580,293	△2,362,563
現金及び現金同等物の期首残高	3,081,184	4,351,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,500,891	1,988,667

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンション 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,809,311	6,448,146	408,781	141,424	12,807,664	63,816	12,871,480	—	12,871,480
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	237,765	801	238,567	—	238,567	△238,567	—
計	5,809,311	6,448,146	646,546	142,226	13,046,231	63,816	13,110,047	△238,567	12,871,480
セグメント利益	216,530	324,252	198,508	23,528	762,820	44,882	807,703	△500,087	307,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△500,087千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンション 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,437,846	5,693,842	190,881	175,057	12,497,629	70,897	12,568,527	—	12,568,527
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	252,922	801	253,724	—	253,724	△253,724	—
計	6,437,846	5,693,842	443,804	175,859	12,751,353	70,897	12,822,251	△253,724	12,568,527
セグメント利益 又は損失(△)	485,852	△98,872	△14,761	25,051	397,270	45,623	442,893	△298,210	144,683

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△298,210千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。